

第3回 八代市総合計画策定審議会会議録（要旨）

開催日時	平成18年12月26日（火） 午前10時～午前11時45分
開催場所	八代市役所5階 大会議室

出席者

策定審議員

会 長	宮川 英明	委 員	澤田 雄市	委 員	上田 義治
副会長	小寺ヤエ子	〃	小松 八郎	〃	米田 常男
委 員	百原 敏弥	〃	草部 史考		
〃	野田 洋	〃	坂本 哲朗		
〃	櫻井 憲吾	〃	邑田 照男		
〃	宮川 政義	〃	田川 維善		
〃	西嶋 真弓	〃	高嶋一二三		(委員16名)

地域審議会代表

地 域	氏 名	地 域	氏 名	地 域	氏 名
八 代	一川 誠一	千 丁	米田 實	東 陽	山本 義孝
坂 本	岩本 卓治	鏡	猿渡 光次	泉	谷口 清和

関係機関アドバイザー

役 職	氏 名
国土交通省九州地方整備局熊本港湾・空港事務所 所長	(代理)八代港事務所副所長 丸野隆夫
国土交通省九州地方整備局八代河川国道事務所 所長	(代理)調査第二課長 甲斐靖志
熊本県八代地域振興局 局長	廣田 大作

資 料

・第3回八代市総合計画策定審議会 次第

添付資料

八代市総合計画基本構想（素案）

総合計画のための地域別ワークショップ開催報告（第3回目結果）

地域別ワークショップニュース（6地域）

第2回八代市総合計画策定審議会会議録

追加資料 将来人口フレームの推計

追加資料 総合計画体系図（案）

公開状況 公 開

傍聴者数 0名

議事録

【会議内容】

1. 開 会

2. 会長あいさつ

3. 議題

(1) 八代市総合計画基本構想(素案)について

(2) その他

【発言要旨】

(事務局)

地域別ワークショップの結果について説明。

(1・2回目は前回説明済み。ワークショップニュースに沿って説明)

(会 長)

前回、第2回の時に、市民アンケートと中学生アンケートとワークショップの2回目までの報告を頂き、本日は、ワークショップのまとめの報告を頂いた。只今の説明について質疑をお願いしたい。

(アドバイザー)

地域によって傾向が違うように思うが、その点をどのように分析されたか。

また、ワークショップの結果を総合計画にどのように活かしていくのか。

(事務局)

市全体の共通項を見出す観点からワークショップの結果を分析しております。地域別の違いは、これから策定する基本計画に反映するよう検討したいと思います。

総合計画への反映は、ワークショップの意見、アンケートの意見を反映しております。

(アドバイザー)

(地域別ワークショップからの)この意見は何名くらいからの意見で、点数はどのように付けているのか。だいたいワークショップには何名くらい参加しているのか。

(事務局)

課題の評点は、あらかじめ設定した26課題から3つ選択頂く形式で、参加者自らが大事だと思う事項を1番、2番、3番と順位付け、それに重み付けの点数を付けています。

参加者数は、八代地域では60名程度、他地域では20名から30名程度の参加を頂いています。

(地域審議会委員)

課題の26項目はどのように抽出したのか。

(事務局)

課題の26項目は、全体的に網羅することを心がけて、市の方であらかじめ考えました。

(地域審議会委員)

審議会でも地域で差が出るという意見があった。鏡や坂本などには、個別の問題があると思う。

26課題を投げかけられて、それに点数を付けたのでは本当の答えが出てこないような気がする。

(会 長)

26項目は市の方で色々な課題を網羅して用意し、「その他」の所で各地域の課題も拾い上げられたのではないかと想像できる。

(事務局)

26項目は新市建設計画をもとに、課題を抽出しております。

(事務局)

補足として、市民アンケート、中学生アンケートとワークショップを実施する他、「市長と語ろう！元気づくりトーク」を実施し、確かに地域の声が挙げられており、この後の基本計画の中で拾い上げ、市民の意見を反映していきたいと考えております。

(会長)

6地域によって共通している部分と、地域の特色を持っている部分があるので、計画に反映していくことで対応をお願いしたい。

序論・第1章(理念、将来像)について

(事務局)説明

(会長)

序論から一章の説明を頂いた。新市建設計画を発展させてのまちづくりの理念、将来像を設定し、基本となる人口は、このままにしておくとも12万2千人になるところをプラス8千人、何とか作り出す。具体的に雇用創出や子育て環境、定住の促進などということが必要になってくる。新市建設計画では、15万人を目指すと言われていたものを13万人に修正するが、都市圏域の拡大も視野に考えれば15万人となることも折り込んである。ご意見、ご質問をお願いしたい。

(委員)

数字の確認について、資料4ページの平成17年の13万6,886人が、4ページの総人口は13万6,635人となってあり、数字の整合性をとっていただくようお願いしたい。

目標人口13万人とあるが、8千人増加するための手段、方法については十分にご検討願いたい。

また、9ページに年齢別人口が書いてあり、高齢者が増えることとなっているが、特に後期高齢者が増えると思われるので、実施計画などを立てられる時には、後期高齢者対策についても十分に検討頂きたい。

(アドバイザー)

3ページに「平成18年をピークに」と書いてあるが、人口問題研究所では、それよりも早まり、人口減少し、高齢化が進むとしており、八代市でも特に旧坂本村は高齢者化が高い。前期高齢者と後期高齢者の要介護度は7倍違う。介護財政や老人医療などの負担が減るような健康づくりやスポーツ振興も考えて欲しい。

(事務局)

人口の数字は、年齢不詳の方の扱いにより、数字に誤差が出ているので、今後、整理したいと思いません。また、間違いなく高齢化する時代において、高齢者を支える世代に住んでいただける社会、そして元気な高齢者が安心して定住できる施策を基本計画に反映して参りたいと思います。

(会長)

高齢者に生き甲斐を持ってもらう施策を進めてはどうかという意見であったかと思う。

第2章(基本目標、施策の大綱)について

(事務局)説明

(委員)

「郷土を拓く人を育むまち」の中の「八代の未来を担うひとづくり」に『「生きる力」を育む』という言葉を使っているが、幼い頃から、ルールを身に付けておくことが大切で、正義感や倫理感、思いやりのある心など人間性を育む教育が大事である。学校教育のみならず幼児教育においても同じと考えるので、食育と同じように、幼児教育分野を読み取れるように活字として表現して頂きたい。

(会 長)

幼い頃からの家庭などで人間性を育むことが重要であるという意見であったと思う。

(事務局)

資料13ページ4行目「発達段階に応じた学力を培う」に(幼児教育における生きる力を)含むと考えておりますが、文言の書き方について検討したいと思います。

(委 員)

活字の中で「幼児」とははっきりと表現して頂けると良いと思う。

(地域審議会委員)

示されていることは目的として非常に良いが、先程のアンケートで、企業誘致などは高い要望があるが、道路整備は0や1。豊かさ、うるおいなど良い言葉であるが、手段が見えてこない。経済界から見たら、港と道路は重点事項である。企業誘致のためには道路整備が必要である。新幹線や高速道路はこの資料では0点に等しい。行政が目指している目的と、市民の目指している目的が違っている。市民が集まっている所では、会議に行っても良かったと思えるような会議にしてもらいたい。目的がこれで、そのための手段は何であるか、その手段を市民は期待している。

(会 長)

書いてあることはすばらしいが、企業誘致、雇用の場の創出などを実現するための具体的な方策が欲しいという意見であったかと思う。

(地域審議会委員)

地域別ワークショップのメンバーが替われば、意見も変わる。「元気づくりトーク」でもいろんな発言がなされて、一個人の発言が地域全体の意見に当たるのか、という問題もある。そのことから旧市町村の職員は行政のプロなので、そういう方の意見も反映して欲しい。

(地域審議会委員)

分厚い計画書が出来た時、市は何をするのか市民が分かるような、実行性のあるものを作り上げてもらいたい。

(地域審議会委員)

これは基本構想なので、全体的に網羅されており、これで結構であると思う。これから検討する基本計画や実施計画で、メリハリの効いたものが出来れば良い。そして1市5町村が合併して良かったという答えが一日でも早く出るよう、地域の色々な問題、特徴を基本計画などに反映されることを期待する。

(委 員)

学校教育だけが「生きる力を育む」ことに努力するだけでなく、就学前から「生きる力」を入れてもらいたいということについて、「安心して出産・子育てができるまちづくり」の中に「生きる力の基礎を育む」ことを入れて頂きたい。

また、「いまだに存在し」という表現は「存在しない」と読んでしまうので、「いまだ」なら「ない」、「いまも」なら「ある」と私は思った。再考いただきたい。

(事務局)

委員ご指摘の表現については再考したいと考えます。

(事務局)

総合計画は、市政全般にわたる計画であり、

八代の状況を三点申し上げますと、第一点は、疲弊した諸産業の再生が大きな課題であることです。二点目に、自然環境が豊かであるのですが、最近、自然災害が多くみられ、安全・安心なあるまちづくりが切望されているという状況があります。三点目に、八代は超高齢社会へ一足早く突入致しており、他の自治体よりも早く高齢者対策をすべき点があります。そのようなことを視野に入れ、将来像を設定致

しましたが、計画を作りましても、実効性があることが大きなカギになります。これまでは、どこの自治体も評価という部分が欠落しており、計画し、実行して、そしてどうだったのかという部分が不足していました。この評価について進捗状況を市民に公表するだとか、このような会議の場で発表するなど、そのようなことに心がけたいと思います。

この後、基本計画の段階では、もう少し具体的にどうやるのかをお示し出来るのではないかと考えております。

(会 長)

次の基本計画、実施計画で、もう少し具体的なものが出てくるということである。

それからもうひとつは、P D C A、チェック・評価という視点が入るということであった。

第3章(計画推進の方策)について

(事務局)説明

(会 長)

只今の行財政の経営、協働によるまちづくりについて、何かご意見等がありますか。

(委 員)

八代市の活性化のためには雇用拡大等も大事であるが、熊本市での観光文化セミナーに参加した時、講師の先生が、熊本県で自慢できるものは阿蘇、その次に八代を挙げられていた。八代は、ルイスフロイス宣教師がヨーロッパで日本史を表した時に、こんなに美しい町はないと書いている。情報発信の面では、八代はかなり遅れているのではないかと。日奈久の開湯600年に関しても誰も声を大にして言わない。八代の町はルイスフロイスがこんなに美しい町はないとヨーロッパに広められたことを、もっと声を大にして言って良いのではないかと。八代市民も市職員もみんな情報発信するようなことを、(資料13ページ)「文化のかおり高いまちづくり」という表現もあることから、一言入れて頂きたいと思う。

(会 長)

市民が意識改革して、情報発信していくことが大切であるということであった。

その他意見がなければこれで議題を終わりますが、その他、事務局何かありますか。

(事務局)

本日は熱心なご審議ありがとうございました。また、年末のお忙しい中ご参集いただきありがとうございました。今回の議論は基本構想の一番重要な部分である理念と将来像、そして基本目標をこのように定めるといふ議論でございまして皆さまより貴重なご意見を賜ったところでございます。今回、この基本構想の素案を提示するにあたりまして、市役所の内部組織でもかなり議論を尽くした関係で、第3回を延期させていただいたところでございます。本日は基本的なところではご了承いただき、基本的な方向についてはお認めいただいたところでございますので、先ほどご意見いただきました具体的な施策、優先事業、「生きる力」を育む人材育成、情報発信の件、などにつきましても今後の基本計画の中で活かしていきたいと考えております。

(アドバイザー)

最後にお願ひだが、小さい点など意見したいところも多少ある。後日文書にてお渡ししたい。他の委員の皆さんも意見等寄せていただいたほうが良いのではないかと。

(会 長)

今までご議論いただいているので、この構想の方向転換、方針転換といった大きなご意見につきましては個人的に出していただくことは無理なこととして、次回の第4回の審議会に向けての建設的な意見と言うことであればよろしいかと思っております。事務局ではいかが考えますでしょうか。

(事務局)

この後説明する予定でございましたが、年明け、2月に第4回審議会を開催する予定であります。基本構想につきましては、このときに最終答申ということでご審議いただく方向で考えております。今回のご意見と、6地域審議会からいただいた意見、これらを集約し素案を修正後、最終案をご呈示する予定です。ご提案がありましたように今回の議事の他、お気づきがありましたらご意見を賜りたいと思います。今回の議事録と共に、意見をいただく用紙等を後日送付いたしますので、もしご意見があればご記入の上、ご返送いただければと思います。よろしくお願いいたします。

(会長)

では、事務局にはお手数をおかけしますがよろしくお願いいたします。

(事務局)

次回日程等を連絡後、閉会。

閉会。散会。